

## 俳句に生きた市原たよ女

市原たよ女は、安永五年（一七七六年）に須賀川に生まれました。今から、二百十数年もむかしのことです。お父さんの名は寿綱、お母さんの名はたかと言ひ、兄さんや姉さんたちきょうだい七人のにぎやかな家族の中で、みんなにかわいがられて育ちました。

市原家は、代々つづいた古い家がらで、大きなつくり酒屋でした。また、大庄屋（江戸時代にとのさまにたのまれて、仕事をする今の市長さんのような仕事）でもありました。

そのころのどのさまは、白河城の松平定信といふたいへんりっぱな人で、良い政治を行いました。そのため、学問・芸術・産業がさかんな時代でした。しかし、一方では、外国の船が日本にやって来て、なんとなくきわがしい不安な時代でも